



## 有限会社COCO-LO

代表取締役  
うたがわ  
雅楽川 陽子さん

### 企業プロフィール

- 事業内容：訪問看護、デイサービス(2ヶ所)、居宅介護支援事業所など
- 従業員数：45名(2011年12月13日現在)
- URL：<http://coco-lo.net>

## 女性が長く働き続けられる制度を拡充



### こうすればできる!こうすればのびる!

- ① 職員が働き続けられる制度の拡充
- ② 遊びの中から学ぶ
- ③ 思いやりと助け合いによるサポート

### 子の看護休暇 子育てと仕事の両立をサポート

会社の設立時当初の社員が子育て中だったこともあり、休暇制度もその状況に合わせて作りました。「働いて欲しい」という強い気持ちがありますので、社員たちが安心して働けるように制度を整備しています。「やるからにはパートではなく、正社員として仕事がしたい。でも子どものこともしっかり見たい」という声を社員から聞きました。その声を実現するために、準社員制度を作り、産前・産後休暇、育児休暇、子の看護休暇などを充実させ、育児介護規定として制定しています。

入社したばかりの社員が、「子どもの熱が出た」「子どもが病気になった」という状況が頻繁に起きました。母親が職場を変えると、子どもは敏感に感じ取って体調を崩すことが多いです。特に、入社して半年未満の社員にそのようなケースが多いこともあり、勤続6ヶ月未満のため年次有給休暇がない正・準社員についてはその半年の間に3日間を有給休暇として取得できる「子の看護休暇」を制定しまし

た。子の看護休暇によるサポートを行うことで社員の子育てを支援しています。働く社員にとって子育てと仕事の両立支援は、とても大事なことだと思います。

### 職場復帰と子育てをスムーズに

子育て中の女性が働くためには、子育て支援の充実が欠かせません。社内に託児所を作ったのは、育児中の社員に安心して職場復帰してもらうためです。具体的に、どのように支援をすれば良いのかがわからなかったため、社員の意見を聴きました。「仕事はしたいけど、子どもを保育園にあずけるのは心配」とのことでした。ちょうど同時期に当施設の利用者さんからデイサービスを作って欲しいという声をいただいていたので、施設内に社員専用の託児所を併設することにしました。

当然、職場の他の社員の仕事上のサポートも重要です。当社の社員には「お互いさま精神」が根付いており、思いやりと助け合いにより職場復帰や子育てがスムーズに進むという職場環境が形成されています。

### 生活相談員 朝倉 美香さん (子の看護休暇)

入社してすぐ子どもが病気になってしまったときに、社長から制定されたばかりの「子の看護休暇」の利用を勧められました。これまでの職場には無かった制度でしたので、素直に嬉しかったですし、大変助かりました。入社してで休暇を取ることは気が引けたのですが、職場の周りの人たちに「お互いさまだから」と言っていただいたこともあり、安心して休むことができました。子どもが3人いると病気にかかることも多かったため、3日間ある休暇は半年のうちに使い切ってしまうました。このような休暇制度があるとともに、「お互いさま精神」が根付いているのでとても働きやすいです。



### アニバーサリーDay 自分を愛するDay とにかく休みをとって遊んで欲しい

人は遊ぶことが大事だと考えています。遊びから学ぶことがたくさんある、だから、たくさん遊んで欲しいのです。家族の用事では休みやすいようですが、自分の用事では休みにくいようです。自分が遊びに行くようになったら尚更です。このような理由から「アニバーサリーDay」「自分を愛するDay」といった休暇を設定し、休みやすい名称にしました。「アニバーサリーDay」は、自分や家族、恋人、友達の誕

生日などの記念日に取得できる休暇です。「自分を愛するDay」は、仕事に疲れた時や仕事もうまくいかないなど、気分を切り替えたい時に思い切って休もう！という気持ちで取得できる休暇です。

社員が疲れている様子を見かけたら、管理者が「休暇をとったら？」と声かけをしています。1時間2時間休むだけでも違うので、時間単位で休むことも勧めています。疲れたので休みますというより、「自分を愛するDay」を取りますという方が取りやすいのでは？と思っています。

